

肉用牛繁殖経営診断について

財務面の診断、生産技術面の診断から抽出された経営課題を整理します。

人間ドック・健康診断と同様に、

○このままだとどんなリスクがあるのか？

○どのような数値・状態が望ましいのか？

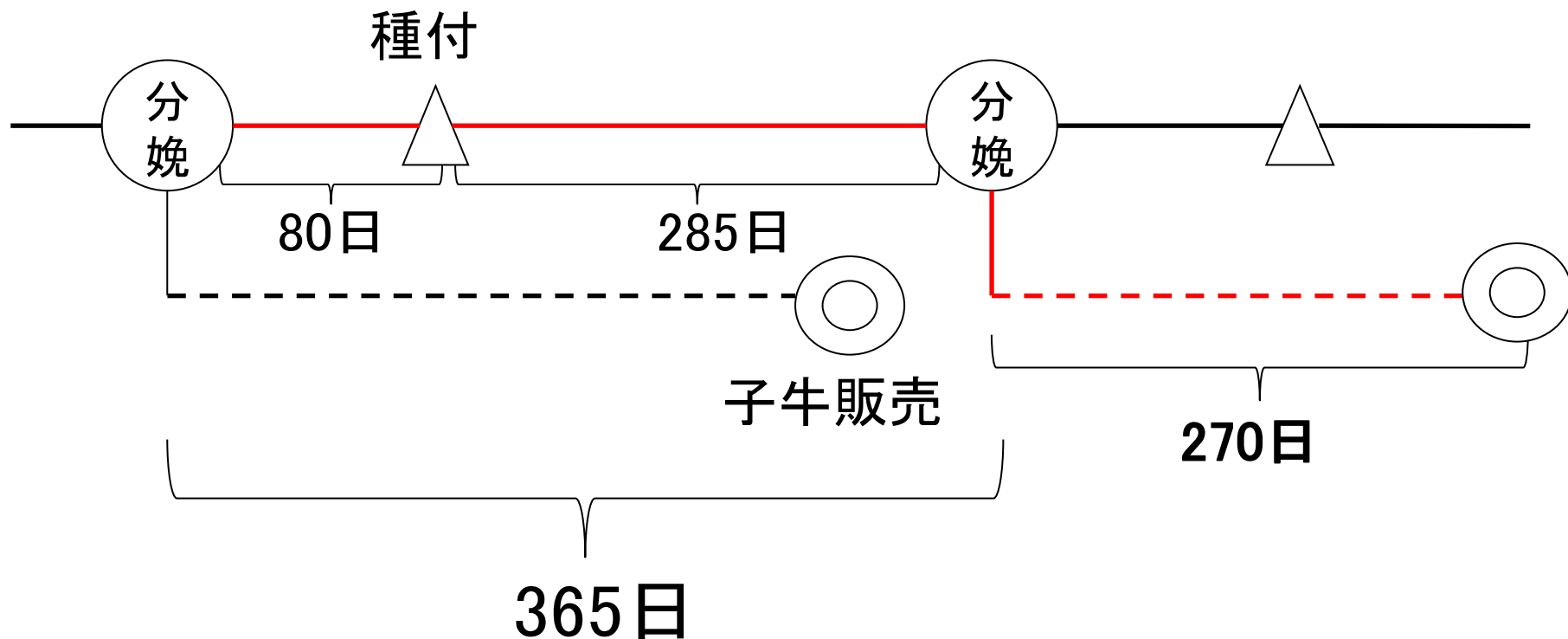
○そのために何を変えていけばよいのか？

を助言書にまとめて、必要に応じ、診断報告会にてご報告いたします。

分析のポイント

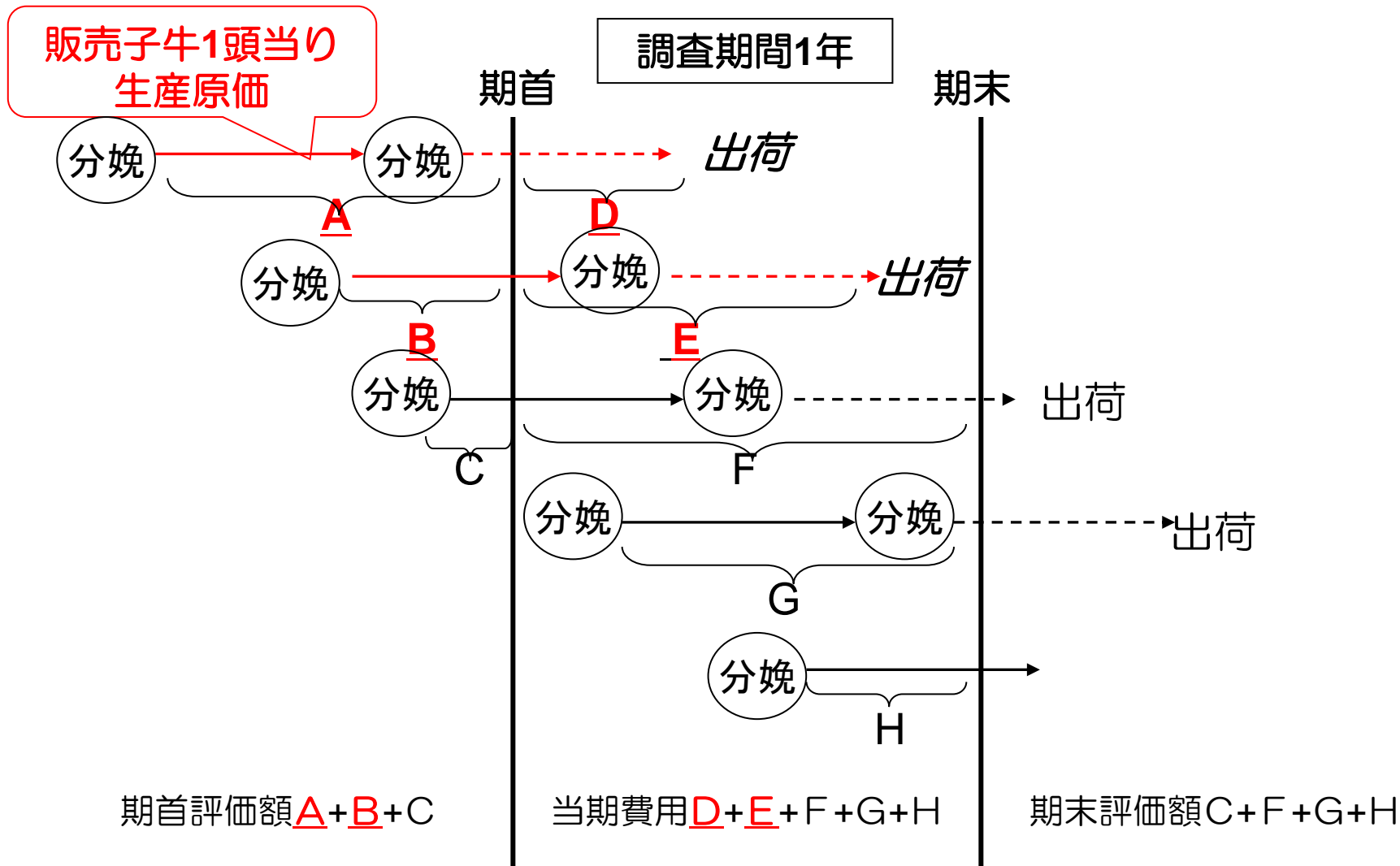
1. 出荷率（一般的に使われる計算方法）
二年間子牛出荷頭数 ÷ 成雌牛常時飼養頭数
× 100%
※成雌牛とは、経産・未經産牛
2. 分娩間隔及び分娩後受胎するまでの日数
（空胎日数）
 - 分娩間隔及び空胎日数の延長による費用及び死産、子牛死亡に係る費用算出
3. 販売子牛1頭当り生産原価と収益性
4. 資産と負債のバランス
5. 飼養技術（出荷成績等）

販売子牛 1 頭当り生産原価とは？



※分娩～分娩・・・子牛販売に係る経費
=365日+270日=635日（約21カ月）で収入が
生まれる！！（1年1産できた場合）

販売子牛1頭当り生産原価について（イメージ）



差引生産原価 = 期首評価額 + 当期費用 - 期末評価額
 = $A+B+D+E$